

岩舟地域会議だより

2016年3月 第3号

新しい地域自治制度が始まっています



栃木市地域防災訓練 開催される

2月7日(日) 昨年内内を襲った9月の大雨以来初めての地域防災訓練が岩舟小学校で行われました。

学校周辺の15自治会の市民約200名が参加しました。参加者はまず避難所である岩舟小学校に避難し、重傷者と想定された参加者を車いすや担架で救護所テントまで搬送しました。

救護所テントでは消防署岩舟分署の救急救命士の指導を受けながら、応急救護の訓練をしました。

その後消防署の特別救助隊員により、校舎屋上に取り残された人のはしご車による救出訓練、倒壊



家屋に取り残された人の救出訓練が行われました。

また、20名の参加者が消火器による初期消火体験を通し、「建物火災で天井に火が回ってしまったら初期消火はあきらめる」、「屋外なら風上に立ち、火元を手前から掃くように消火する」などのポイントを学びました。

最後に、消防団岩舟方面隊による放水訓練を行いました。

校舎の一角では、炊き出し訓練として災害ボランティアが米とめんつゆを入れた袋を鍋に入れ、約30分の湯せんで炊きあがる「ハイゼックス」ご飯を、民生委員・児童委員が豚汁を準備し、冷え切った体の参加者に試食してもらいました。

体育館では、岩舟分署職員によ

るAED(自動体外式除細動器)を使った救命措置の講習、毛布と竹を使った応急担架の作成指導もありました。

体育館わきのスペースでは地震を疑似体験できる起震車、様々な災害に対応できる機能を搭載した災害支援車が展示され、地震体験をしたり、消防職員からの説明に熱心に耳を傾けたりしていました。中でも災害支援車は大きな川や渡良瀬遊水地がある栃木市ならではの車両で、水難救助資機材を多量に積載する他特殊な災害にも対応できます。

午前8時30分から約3時間、参加者にとっては災害時に地域・団体の役割を確認しあうひと時となりました。



第8回地域会議報告

日時 平成27年12月24日(木)

○議事1 (報告)

栃木市生活排水処理構想(素案)に対する意見書について

前回の地域会議で情報提供のあった本構想について岩舟地域会議として以下のとおり意見書を提出することになりました。

意見書概要

栃木市生活排水処理構想(素案)において、渡良瀬川下流域下水道大岩藤処理区域の見直しについて記されています。素案では、岩舟地域及び藤岡地域にまたがる二つの処理分区の区域の一部を、全体計画から除外することになっております。

その一部は栃木市の総合計画の具体策のひとつである「岩藤大規模開発の推進」の予定されているエリアであります。

将来、岩藤大規模開発を推進する市の方針と当該エリアを全体計画区域から除外している本構想(素案)との整合性について疑問を感じますので再検討願いたいというものです。

第9回地域会議報告

日時 平成28年1月28日(木)

○議事1 (報告)

平成28年度組織機構の見直しについて

【総務部 総務課】

概要 市民目線かつ、効率的で行政課題に的確に対応する組織機構とするため、平成28年4月に向け見直しを図った新組織について報告を行うものです。

4月1日以降岩舟総合支所は「岩舟地域づくり推進課」、「岩舟市民生活課」、「岩舟産業振興課」の3課になります。岩舟産業振興課は別館1階から総合支所庁舎1階に移ります。

○議事2 (報告)

栃木市健康福祉センター条例の一部改正について

【岩舟総合支所 健康福祉課】

概要 岩舟健康福祉センター(遊楽々館)の開館時間については午前8時30分から午後8時30分まででしたが閉館時間が30分伸びて午後9時までとなります。休館日は月曜日から水曜日になり、年末年始の休館日は12月29日から翌年1月3日まででしたが12月30日から翌年1月3日までとなります。センター内施設については以下の表をご覧ください。

ください。なお、65歳以上の利用料が新設され入館券一枚200円、入館券11枚分の回数券は2000円になります。

センター内施設新利用時間(赤字が変更点)

会議室、調理実習室、親子室、ボランティア室	利用時間 午前8時30分から午後9時まで(※水曜日は午後5時15分まで、ただし、水曜日が祝日の場合は、その翌日が午後5時15分まで) 休館日 12月29日から翌年1月3日まで
浴室、脱衣室、大広間及び静養室	利用時間 午前10時から午後9時まで、水曜日(その日が祝日の場合は翌日)、第2火曜日(その日が祝日の場合を除く) 休館日 12月30日から翌年1月3日まで
トレーニング室兼機能回復訓練室	利用時間 午前9時30分から午後1時まで及び午後3時から午後9時まで(※日曜日は午後2時30分から午後8時まで) 休館日 水曜日(その日が祝日の場合は翌日)第2火曜日(その日が祝日の場合を除く)12月29日から翌年1月5日まで

○議事3 1/20、1/22まちづくり

実働組織説明会について

(3ページ「まちづくり実働組織関連情報」をご参照ください)

第10回地域会議報告

日時 平成28年2月26日(金)

○議事1 (報告)

【建設水道部 下水道課】

【生活環境部 斎場整備室】

概要 現栃木市斎場の老朽化や将来における火葬需要の増加への対応を図るため、平成24年度より斎場再整備事業を進めています。この度、新斎場建設地を事業費、事業実施の難易度、安全性・利便性、地元住民等への影響を考慮し「南部清掃工場跡」に決定したことにについて報告を行うものです。



○議事2

栃木市生活排水処理構想(素案)に対する意見書への回答について

(意見書概要は1ページ「第8回地域会議報告」をご参照ください)

【建設水道部 下水道課】

【建設水道部 下水道課】

回答書概要 今回の構想の見直しについては、栃木県構想の見直しの基本方針に基づくと共に、本市総合計画における人口推計や財政見通しを考慮し、10年程度の早期概成と長期的な観点から施設の統廃合や効率的な運営管理を見据え、検討を行いました。

ご意見のように、岩藤大規模開発については、栃木市総合計画においては、産業集積ゾーンに位置付けられ、市長マニフェストにおいても地域産業の振興を図るとしております。また、流域下水道幹線が通っていることから、下水道への接続が十分可能な地域であります。

しかしながら、現在のところ大規模開発区域の大部分が未利用地であり、具体的な計画が未定であることから、本構想の区域から除外しております。今後、岩藤大規模開発の事業が具体化し、区域や時期が定まり、公共下水道が必要となる住居系の用途が指定された場合には、下水道区域への編入が可能となります。

なお、本構想は概ね5年ごとに見直しを行いますので、その際には、岩藤大規模開発の進捗状況を十分考慮し、慎重に検討してまいりたいと考えております。

まちづくり実働組織関連情報

まちづくり実働組織

説明会開催される

まちづくり実働組織の説明会が静和小学校区、小野寺南・北小学校区で開催されました。11月7日岩舟小学校区で先行して開催した説明会に次いで、静和小、小野寺南・北小学校区でも同様に開催したものです。

1月20日（水）静和地区公民館において静和小学校区の区長、自治会長、民生委員、PTAを対象にまちづくり実働組織に関する説明会が開催されました。平成27年度から運用が始まっている新しい自治制度についての説明、その中のまちづくり実働組織の位置づけ、まちづくり実働組織の果たす役割について説明があり、岩舟地域における考え方、想定される組織、進め方について説明がありました。

それを踏まえて、静和小学校区を範囲として、まちづくり実働組織設立準備会（以下準備会）を立ち上げることになりました。静和小学校区の区長、自治会長、民生委員、PTA役員で組織される準備会では今後地域共通の課

題、主にどのようなものに取り組みか、それによりどのような組織とするのが有効なのか等具体的方策等について話し合いを重ねていく予定です。



1月22日（金）遊楽々館において小野寺地区の関係者を対象とした説明会が開催されました。その結果、小野寺南小学校区、小野寺北小学校区それぞれに区長、自治会長、民生委員、PTA役員を対象とする準備会を立ち上げることになりました。

会議の中での主な質疑応答は以下のとおりです。

質問1 既存の区、自治会などの組織と重複する部分も多いと感じましたが、これまでの組織でやってきたことをやめたり、新しいことをしたりする必要があるのでですか？

また、事務局の役割が重要になり、負担も大きくなると考えられます。事務局に対する支援をより手厚くしてほしいと思います。

回答1 既存の組織の活動については、これまでどおり実施することで問題ありません。今後自治会等の規模が小さくなること、また近隣と合同で事業を実施することで補助制度が利用できるという観点から提案しているものです。

事務局については負担が大きいと考えるので、最初はできるだけ行政も協力いたします。ただ、本制度の趣旨は地域が主体となるものであるので、軌道に乗れば地域が主体となり進めて欲しいと考えます。

質問2 小学校区内で何が共通の課題となるかを考える必要があると思います。そう考えると老若男女が当事者と

なる、「防災」をテーマにした事業などが良いのではないかと思いますがいかがでしょうか？

回答2 災害は必ず起きると認識し、それなりに備えることが必要なので、防災をテーマにした事業などは手始めに取り組む事業としてはうってつけだと思います。

地域の話題

NHK黒川敬氏の講演会開催

1月29日（金）栃木県自治会連合会が主催する「会長研修大会」が栃木市文化会館大ホールで開催され、県内の自治会関係者約900人が集まりました。最初に表彰式が執り行われ、92名の自治会長、自治会役員が栃木県知事より表彰を受けました。

その後、研修会に移り株式会社NHKブラネット中部支社 制作事業部長黒川敬^{たかし}さんのお話を伺いました。平成15年から7年間放送されたNHK「難問解決！ご近所の底力」の制作に携わっていただけあり、自治会役員不足問題、ゴミ出し問題等一度は直面したことのある問題が採りあげられ、参加者が一様に深くうなずく姿が何度となく見られました。

千人以上の大ホールでありながら参加者周辺にマイクを用意し、対話形式で進められました。

意見交換の際には多数の参加者が手を挙げ、熱い意見が交わされる場面も見られ、参加者の地域での活躍ぶり、地元への愛着が随所に感じられました。

黒川氏は最後に「問題を解決できた地域の共通点は『自分たちでやってみる。そうしたら意外に多くのことができた。』というもの。まず動きましよう。」と結びました。

参加者からは「県内のどの地域でも



抱える問題は似ている。今後自分たちの地域でも参考にしたい」、「地域に入り込み番組を作ってきた人の話で説得力があった」等様々な刺激を受けたようです。

インドの文化を感じる 講演会開催

2月23日（火）岩舟公民館講義室において、ネパール人ヨガ講師として活躍中の金田サラソティーさんによる「ストレスのない子育てとシンプルライフ」〜インドから学ぶゆとりある暮らし〜と題した講演会が開催されました。

主催者である岩舟町if（イフ）の会関係者を含む約30名の参加者が集まりました。

ネパールとインド間の往来はパスポートも不要で、特にインド北部とは言葉も普通に通じる関係であることからネパールも含めた意味でのインド文化について講演されました。

インドの家族の特徴は男兄弟が結婚しても家に残り、一つ屋根の下に住むことが普通、子どもたちはみな一緒になって遊び、金田さん自身も親と遊んだ記憶はなく、もっぱら兄弟やいとこと遊んでいたそうです。

そんなインドの家族文化に加え、意



外とカレーを食べない食生活、ヒンドゥー教にまつわる多彩なお祭りの様子などが写真を交えて丁寧に紹介されました。

最後に日本で耳にするいじめを苦にして自分の命を絶つ子どものニュースに触れ、インドでは考えられない痛ましいことであり、聞くと胸を痛めるが、そこは学校でなく家庭の暖かさが必要であると強く訴え、講話を締めくくりました。

参加者にとっては家族の大切さ、異国文化を感じる貴重な時間となりました。

名称変更のお知らせ

栃木市役所 組織機構の見直しにより平成28年4月から「岩舟総合支所地域まちづくり課」は

岩舟地域づくり推進課

に名前を変更いたします。

事務所の場所、電話番号、メールアドレスの変更はありません。地域まちづくりセンターの名称も変更ありません。



岩舟地域会議だより第3号

平成28年3月18日発行

岩舟地域まちづくりセンター

（岩舟総合支所 地域まちづくり課内）

〒329-4392

栃木市岩舟町静5133番地1

電話0282-55-7751 fax0282-55-4910

E-mail:i-chiiki@city.tochigi.lg.jp